編集後記

今年も無事「五十号」を発行することができました。実は記念すべき半世紀を迎える号でしたが、昨年紙面一新をしたこともあり、通常版とさせていただきました。

北海道ブロックホームページからもデジタル版をご覧いただけますのでどうぞそちらもご活用ください。

発行にあたり広告主および関係者の皆様に、ご協力いただき深く感謝申し上げます。

茶道裏千家淡交会青年部
北海道ブロック HP
http://hokkaidoblock.grupo.jp/

全道の青年部の活動が掲載されております。ぜひご覧下さい。

平成 27 年度
青年部正会員募集中

お申し込みは先生を通じて各青年部部長までお願いします。

創業大正12年、味と信用を
ほこる札幌の老舗
御料理仕出し、弁当、貸席
菊久一本店（きくいち）
TEL. 521-0143

茶　室
庵辰北
〒062-0904　札幌市豊平区豊平4条1丁目1番1号
サッポロ　ルネッサンス　ホテル　３Ｆ
日本料理「花城（はなぎ）」内
電話代表（011）821－1111（内線　2373）
直通（011）814－8711
http://www.renaissancehotels.co.jp

歴史にはぐくまれた着物、その着物の心を伝えていきたい。
呉服舗
琴似角磯ハブタイ屋
札幌市西区琴似1条5丁目3-17　琴似本通り角磯ビル1F　☎(631)7874

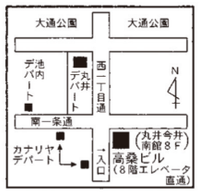
創業弘化四年
新・古茶道美術品商
清昌商
やました
〒060－0002　札幌市中央区北2条西14丁目3－11
TEL 011(281)4566　FAX 011(207)5663
URL http://www.seishodo.com

三八はお菓子の
おいしさを大切に
しております。
春夏秋冬
銘菓　四季羊かん
栗菓子の傑作
銘菓　栗くわし
札幌菓子處
三八菓舗
本社　札幌市中央区南１条西12丁目　☎271－1138

企画／デザイン／設計／施工／監理
■インテリア　■デスプレイ　■ショールーム
■エキシビション　■スペースデザイン　■トータルサイン
株式会社　六書堂
本　社　札幌市北区北36西2　TEL(代)　727-0616
スタジオ　札幌市北区北36西2　TEL(代)　751-8055
旭川営業所　旭川市豊岡2条3丁目　TEL(0166)　33-8844

茶のあるくらし
茶の湯道具　駿河屋
営業時間／午前９時半～午後６時半　定休日／毎週日曜日
中央区南３条西２丁目 ＫＴ三条ビル１Ｆ(旧ＨＢＣ三条ビル)
INS TEL(011)231-5006 FAX 231-5013
ＫＴ三条ビル茶道教室　中央区南３条西２丁目
TEL(011)222-1454

茶道と共に菓子一筋
磨きぬかれた技術の粋
四季おりおりの情緒豊かな
主菓子・干菓子
山親爺・ノースマン
さわやかな北国の味
お菓子の　千秋庵　創業 大正10年
札幌市中央区南3条西3　☎(011)251-6131(代)

出会いを
大切にします
〔取扱品〕
●千家十職作品　●現代著名作家作品
●新、古茶道具　●お稽古用品全般
●掛軸の表具　●桐箱、塗蓋、牙蓋等の補修
●茶碗、水指等の補修
美術茶の湯道具
OTAKA　株式会社　オオタカ
本　社　札幌市中央区南1条西1丁目高桑ビル8F　☎(011) 762－3812
南一条店　札幌市中央区南1条西1丁目丸井今井南館8F　☎(011) 242－5428
新川営業所　札幌市北区新川2条7丁目1－10　☎(011) 762－3812
函館店　函館市柏木町3－17　☎(0138) 53－9502
茶の湯道具高価買い取り


「伝える」から「伝わる」へ
HATAMOTO
www.hatamoto.cc

青榆

五月十六日～十八日国立京都国際会館・グランドプリンスホテル京都にて淡交会青年部ナショナルコンファレンス２０１４が開催され、全国から約六百名の青年部会員が集まりました。

淡交会青年部　ナショナルコンファレンス　2014

誇りと情熱　～互いに高めあうために～

受付後、裏千家学園席と近畿ブロック合同の呈茶席が設けられ、そのいずれかに入席し一碗をいただきました。

開会式後は同志社大学学長・村田晃嗣氏による特別講演、その後夕食懇親会となりました。初対面の方々と名刺交換し交流を図りました。夕食会のオープニングは祇園囃子の演奏で始まり、アトラクション「あるある川柳」は会場の笑いを誘う的を射た川柳で、優秀作品には表彰もあり盛り上がりをみせました。

二日目午前中はグループ研修で、上賀茂神社献茶式参列、樂美術館見学など、三十のコースに分かれ様々な体験をしました。グループ研修「寂庵訪問」では写経を行った後、寂聴先生のお話があり「生きて行くとは出会う事、有縁を大切に。一日一日を一生懸命に生きる事。相手が今何を欲しているか想像力を養い思いやりの心を持つ事。同じ考えでいる人はたくさんいます」と茶道に通じる沢山のお言葉をいただきました。研修終了後は報告を兼ねたグループ呈茶を行い、全国から持ち寄った各地のお菓子をいただき一碗を楽しみました。

午後は鵬雲斎大宗匠特別講演で、お客様をお迎えする「もてなし」の心が大切であること、学んだ事を実践に移す事が大切で「学んで時に之を習う亦説ばしからずや」と語られました。続いて和紙作家・堀木エリ子氏との「御家元対談」。堀木氏は伝統ある和紙の世界に新たな一石を投じた時、周りの理解を得ることの難しさと、ご縁の大切さについて語られました。ご縁は本人にパッションがなければ広がらない、夢は語らないと叶わないと、熱い対談が行われました。その後閉会式、夜は実行委員会主催による懇親会が行われました。

三日目は茶会が催され、平成茶室にて家元による濃茶席、茶道会館では千敬史様と伊住公一朗様が薄茶席、裏千家学園には点心席が設けられました。三日間充実した内容で、参加者は新たな出会いを得、茶道の素晴らしさを実感した機会となりました。

上賀茂神社献茶式参列

一閑張体験

北海道地区大会　青年部のつどい

九月二十七日（土）第五十三回北海道地区大会にお きまして、坐忘斎御家元はじめ宗家の皆様のご臨席のもと、全道から二百二名の青年部会員が参加し「青年部のつどい」が開催されました。

プログラムでは今日庵業躰後藤宗国先生から「点茶盤・薄茶」のご指導をいただきました。点茶盤のなりたち、時代背景など詳しくご教示くださいました。

その後、坐忘斎御家元からは、背伸びせず青年部会員らしい茶道を楽しみ、仲間の輪を広げていくようお話し頂きました。まずは自分の周りから一碗の輪を広げていこうとあらためて思いました。短いひとときではありましたが、気持ちの引き締まるつどいとなりました。

無限碑清掃

五月から十一月までの期間中、各青年部が交代制で無限碑の清掃を行っています。

先人への尊敬の思いと、御家元の道場を、青年部行事でも使用させていただいている感謝を込めて奉仕させていただいております。

今年度の清掃は、次の日程となっております。

・札幌第一青年部
六月二十一日、十月四日
・札幌第二青年部
七月十九日、十一月一日
・札幌第三青年部
八月三十日
・札幌第四青年部
五月四日、九月二十日

利休道歌

その道に
入らんと思ふ心こそ
我身ながらの師匠なりけれ

題字　井口海仙先生筆

発行責任者

札幌第一青年部
部長　畑井　美貴

札幌第二青年部
部長　田邊　由美

札幌第三青年部
部長　武田　恭子

札幌第四青年部
部長　元田　千寿

編集責任者

札幌第一青年部
福井　由希
齊藤　景子

札幌第二青年部
岡田万里子
池田　修崇

札幌第三青年部
梅田　直子
鵜野紗有里

札幌第四青年部
鏡　浩二
森田ひとみ

札幌第一青年部

札幌第一青年部茶会

五月四日（日）、北海道茶道会館にて札幌第一青年部茶会が行われました。会員五十名が参加し、百六十四名のお客様にお越しいただきました。今回のテーマは「みどり」で、待合には観葉植物を置き、小鳥の囀りのＢＧＭを流し、全国大会の資料やブロック研修会のお知らせを展示しました。待合がとても参考になったと好評をいただきました。

一階嘉祥軒では坐忘斎御家元筆「翠竹清」を掛け、「溜精棚」に竹絵の水指で五月のさわやかな「新緑」をイメージしました。お菓子は柏餅で、柏の葉は新しい芽が出ないと古い葉が落ちないことから「青年部の後継者が途絶えない」という思いを託し銘を「若葉」としました。

二階立礼席では「端午の節句」を趣向にし、お床は高桐院松永剛山筆の「薫風自南来」を掛け、手桶に菖蒲を入れ、花寄せ屏風に研修行事で作成した家紋の扇子を設えました。会員手作りの干菓子入れ「登鯉」と、五色の干菓子は、お客様に特に喜んでいただき、皆様の歓声に一層嬉しく思いました。

ブロック研修会スタンツ

平成二十六年七月十二日（土）、北見ホテル黒部にて北見青年部主管でブロック研修会が行われました。来年は当青年部が主管となる為、懇親会でスタンツを披露しました。青年部十八名と親先生三名で『アナと雪の女王』の主題歌「Let It Go」に合わせて踊りました。女性は雪の女王に扮し、ティアラ・水色の手袋・シルバーのキラキラをまとい、男性二名はトナカイと雪だるまに扮しました。曲の最後には〝札幌来てね！〟と書かれたうちわを掲げてアピールしました。終了後に西村宗友幹事長と畑井美貴部長よりご挨拶があり、来年の開催にむけて思いを伝えました。

札幌第一支部・学校茶道・青年部合同交流茶会

処暑過ぎる八月二十四日（日）、北海道茶道会館にて札幌第一支部・学校茶道・青年部合同交流茶会が行われました。今回青年部が初めて加わり、十二名が参加いたしました。

学生はグループに分かれ、お客側、亭主側をそれぞれ薄茶二席体験し、青年部は用意した材料を学生が型に詰めて取り出すという和三盆のお干菓子作り研修を担当しました。短い時間でしたが、初めて体験する方も多いなか、笑顔溢れるひと時でした。作ったお干菓子は、立礼席のお菓子として出され、皆さまに手作りの味を楽しんでいただきました。

札幌第二青年部

札幌第二青年部　学校茶道合同茶会

六月二十九日（日）、北海道茶道会館にて、札幌第二青年部・学校茶道合同茶会を開催いたしました。

今回のテーマは「七夕」。濃茶席での額紫陽花、香合に蜑小舟香合、点心席では笹や短冊を飾りつけるなど、七夕を感じていただけるよう工夫しました。学生さん方は、学校とは違う茶道を見ることができた貴重な体験であったと思います。

また私たち青年部も、海外の留学生も含めた学生の皆さんの真摯さに、身が引き締まる思いをいたしました。

第五十三回北海道地区大会ふれあい席

九月二十七日（土）二十八日（日）の両日、北海道地区大会において、学校茶道、青年部合同でふれあい席を設けさせていただきました。

「調和（ハーモニー）」をテーマに掲げ、親先生、青年部、学校茶道が一体となってお迎えし、たくさんのお客様にお越しいただきました。

床には、お家元御染筆の色紙、「青山緑水」を掛けました。

席入り後にはスクリーンで、札幌の四季を紹介する映像をご覧いただきました。また、「洛中洛外図」を模した札幌市内の観光地図を点前座の背後に飾りお道具にも北海道由来のものを使うなど、道外、市外からお越しになったお客様に札幌の魅力をお伝えできるよう工夫いたしました。

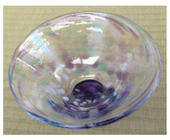
今回のようにたくさんのお客様をおもてなしする機会には不慣れな私たちでしたが、多くのお喜びの声をいただき、大変励みになりました。

ガラス茶碗づくり

十月四日（土）をはじめ、四回に分けて、小樽市朝里川の創造硝子工房Ｓｔｕｄｉｏ Ｊ―４５において、ガラス茶碗づくりをいたしました。

千三百度の窯から取り出された真っ赤なガラスを緊張の面持ちで膨らませ、工房のスタッフさんご指導のもと、形を整えていくと、それぞれお揃いのようで、個性の見られる茶碗が出来上がりました。

この後は会員同士の交流を兼ねた食事会で小樽の美味しいお昼ご飯をいただきました。



札幌第三青年部

学校茶道交流茶会

短い夏の終わりを告げる八月三十一日（日）北海道茶道会館において第二十六回学校茶道交流茶会を開催いたしました。今年も五十余名の学生の皆様がお運びや水屋を担当し、親先生や、お社中、茶道部の皆様をお迎え致しました。

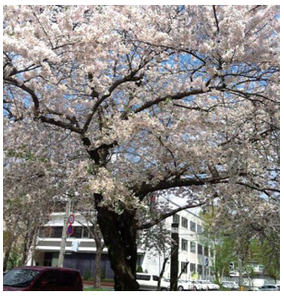
前日からお点前や足運びなどを確認し、リハーサルをしました。他校の方の練習の様子なども熱心に見学し互いの研讃の舞台にも使われているようでした。また、大学生は夏休み期間にも関わらず多くの参加をいただく等、茶道への関心の深さをうかがえました。

興正学園訪問

十月二十五日（土）児童養護施設興正学園において茶道体験を行いました。五歳から十六歳までが集まり、会員の盆略点前の後に、見よう見まねの茶筅振り体験をしました。緑の泡を口いっぱいに「美味しい！」と楽しむ姿、友達同士で照れくさそうに「いただきます」ありがとう」とはにかむ姿に笑みがあふれ心温まる日となりました。

着物で和食

桜がほころび始めた四月二七日（日）日本料理とらやにおいて「着物で和食」の昼食会を行いました。和食の勉強と会員の懇親を目的に、点心やお凌ぎ作りのアイデアを学び、季節の食材の素材や美しさを活かした味付けや盛付けに感嘆。改めて和食の素晴らしさを知る機会となりました。着物も茶席とはひと味違うおしゃれを楽しみ、日常の和文化、日々の茶道の話も弾むひと時となりました。



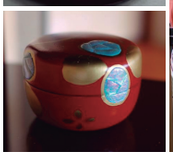
古袱紗作り

夏の日差しもまぶしい七月二七日エルプラザにおいて古袱紗作りを致しました。揃いの裂地は「七宝地雲頭菱紋」慣れない鯨尺の寸法での採寸に戸惑いながら一針一針に心を込めた出来栄えは全員大満足でした。男性でも使えるような裂地でしたので貴重な男性会員には講師を務めた会員が代りに仕立ててプレゼントをしました。

札幌第四青年部

母の日呈茶

五月十日（日）、茶道会館にて第四支部の研究会が行われたこの日、先生方への日頃の感謝を込め、嘉祥軒でサプライズの母の日呈茶を行いました。研究会当日のアナウンスにもかかわらず、お昼休みや研究会終了後など、嘉祥軒に行列ができるほど本当にたくさんの方々にお越しいただきました。部員が絵付けした棗や香合を設え、カーネーションに見立てたお菓子をご用意。研究会に参加していた部員も含め、全員でお茶をお出ししました。お昼休みには業躰先生にもお越しいただき、終始和やかなお呈茶席となりました。



中島児童会館呈茶

八月三十日（土）、中島児童会館にて呈茶と茶道体験を行いました。お茶の渋みに驚いたり、自分で点てた一服への反応にはにかんだりと、参加者一人ひとりが気持ちを交わして楽しく過ごせた会となりました。

時計台呈茶

十月十八日（土）、札幌時計台にて、市民や観光客の皆さまをお迎えしての市民呈茶を行いました。今回はステージで盆略点前を行ったのですが、間近で見るお手前に、皆さんとても興味深く見入っていました。短い時間でしたが、一服を通じて心を通い合い、とても和やかなひと時となりました。

家紋刷り体験

四月二十日（日）、札幌生涯学習センターちえりあにて、千葉忠紋店の千葉先生をお迎えし、家紋刷り体験を行いました。たくさんの見本の中から自分の家紋を選び、ステンシルの要領で家紋を描いていきます。最後は扇子に貼り込んで、自分だけの扇子が完成しました。家紋の種類がとても多く、見てるだけでも勉強になった講習会となりました。

帯締め作り体験

九月七日（日）、ひさ流和研の細谷先生をお迎えし、帯締め作り体験を行いました。自分たちの選んだカラフルな絹糸を交互に織り続け、個性豊かな帯締めができあがりました。